

(社)日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第13回 余裕深度処分対象廃棄体分科会 (F9SC) 議事録

1. 日時 2007年8月30日 (木) 13:30~17:20

2. 場所 (社)日本原子力学会 会議室

3. 出席者 (順不同, 敬称略)

(出席委員) 阿部 (主査), 河西 (副主査), 脇 (幹事), 明里, 熊野, 駒月, 坂下, 桜井, 高橋, 土生, 古谷, 山田 (12名)

(代理出席委員) 尾崎 (柏木代理), 野口 (西谷代理) (2名)

(欠席委員) 大浦, 中山 (2名)

(常時参加者) 伊藤, 大塚, 飛田, 藤井, 水井, 山田 (6名)

(欠席常時参加者) 木村 (1名)

(傍聴者) 渥美, 五十嵐, 小林, 中村, 邊見, 御子柴 (6名)

(事務局) 岡村

4. 配付資料

F9SC13-1 第12回余裕深度処分対象廃棄体分科会議事録 (案)

F9SC13-2 標準委員会の活動概況

F9SC13-3 人事について

F9SC13-4-1 標準本文に対するコメントについて

F9SC13-4-2 標準解説に対するコメントについて

F9SC13-4-3 標準附属書に対するコメントについて

F9SC13-5-1 乾燥試験結果について

F9SC13-5-2 附属書7-1-1 (参考) 固体状廃棄物であることを達成する乾燥の判断について

F9SC13-5-3 附属書7-1-1 添付資料1 自由水の制限の基本的な考え方

F9SC13-6 附属書4 (参考) 廃棄体の標準的な製作手順

F9SC13-7-1 附属書6-1 (規定) 廃棄体製作に関する記録

F9SC13-7-2 附属書6-2 (参考) 廃棄体製作に関する記録の例

F9SC13-8 附属書1 (参考) 対象廃棄物の範囲及びその性状

F9SC13-9 附属書2の追加 -長期的、施設関連として考慮すべき項目-

F9SC13-10 附属書7-6 (参考) 廃棄体整理番号と記録の照合措置について (案)

F9SC13-11 1, 2, 3, 6についての解説案

参考資料

F9SC13-参考1 廃棄体標準目次 (案) と余裕深度処分対象廃棄体分科会審議予定

5. 議事

(1) 出席委員の確認

事務局より、開始時点で代理出席委員を含め12名の委員の出席があり、決議に必要な委員数 (11名以上) を満足している旨の報告が行われた。

(2) 前回議事録の確認

前回議事録について、承認された。(F9SC13-1)

(3) 標準委員会の活動概況 (F9SC13-2)

事務局より、F9SC13-2に沿って、標準委員会の活動概況が説明された。さらに、主査より、低レベル放射性廃棄物に関する3つの標準化の提案がサイクル部会にて承認され、本分科会についても、今後、余裕深度処分以外の低レベル放射性廃棄物に対象を拡げ、廃棄体製作並びに検査方法の標準化に取り組む旨の補足があった。

(4) 人事について (F9SC13-3)

a. 委員の退任及び常時参加者登録解除の報告

事務局より、西谷委員から退任届が出されている旨報告された。また、小林常時参加者、廣瀬常時参加者、田村常時参加者、杉山常時参加者、高橋常時参加者並びに東常時参加者より登録解除の申し出があった旨報告された。

b. 新委員の選任及び常時参加者登録の承認

事務局より、脇委員から野口 裕史氏（日本原子力発電（株））の推薦があったことが説明され、決議の結果、承認された。また、大塚 久雄氏（（財）原子力環境整備促進・資金管理センター）、藤井 康充氏（電気事業連合会）、飛田 英博氏（日本原子力発電（株））、山田 隆氏（（中）日本原子力技術協会）が常時参加者への登録を希望されている旨説明され、決議の結果、承認された。

（5）廃棄体分科会審議予定について（F9SC13-参考1）

脇幹事より、F9SC13-参考1に基づき、次回の原子燃料サイクル専門部会に報告を予定していること、その後、本標準案単独で発行を目指すか、検査方法を含めた標準とするか判断したいとの説明が行われた。

（6）標準本文、解説、附属書に対するコメントについて（F9SC13-4-1～13-4-3）

F9SC13-4-1～13-4-3に沿って、前回分科会以降の各委員からのコメントと、コメント対応案についての説明が行われた。資料について、以下の意見があり、対応することとなった。

- ・ 標識における耐放射線性塗料については、標識の機能がピット内部充てんまでの比較的短期間であることから、特段の対応は考える必要がなく、標識の確保すべき期間に対するコメントと併せて、言及の必要がないとの対応とする。
- ・ 照合対象の履歴情報に関しては、標準本文の「廃棄物の発生段階から」を削除し、解説する文章も、「放射能評価に重要である」の主旨に留めることとする。

（7）乾燥試験結果について（F9SC13-5-1）

桜井委員より、F9SC13-5-1に沿って、乾燥試験結果の説明が行われ、凍結すると乾燥時間が遅くなるので、凍結防止策が必要であるとの指摘が出された。

（8）乾燥試験結果を受けた附属書等への記載について（F9SC13-5-2～3）

桜井委員及び山田委員より、F9SC13-5-2～3に沿って、附属書7-1-1（参考）及びその添付資料の説明が行われた。資料について以下の意見があり、対応することとなった。

- ・ 附属書7-1-1付図4において乾燥温度0℃は削除し、付表7及び付表8において「乾燥時の温度が0℃以下にならないこと」を備考的に扱う若しくは「乾燥時の温度が0℃以下にならないことが望ましい」等の修正とする。
- ・ 2つの資料を附属書7-1-1としてまとめるにあたり、最初に考え方を持ってきた方が良く、全体的にはさらに簡素化し、要約する必要がある。

（9）製作手順について（F9SC13-6）

山田委員より、F9SC13-6に沿って、廃棄体の標準的な製作手順を示した附属書の説明があった。資料について以下の意見があり、対応することとなった。

- ・ 製作フローは例であることを明示する。
- ・ 気中保管の場合には水切りは不要であることを付記する。
- ・ 放射化金属のフローにある貯蔵場所を解体時のことも考慮して「貯蔵場所等」とする。

（10）廃棄体製作に関する記録について（F9SC13-7-1,2）

山田委員より、F9SC13-7-1,2に沿って、廃棄体製作に関する記録の説明があった。附属書6-1（規程）と附属書6-2（参考）の相違等について、議論がなされたが、6-2で両方の内容が読めることから、結果として、附属書6-1（規程）を削除し、附属書6-2（参考）を例と明示する等の修正の上、附属書6（参考）とすることとなった。

（11）対象廃棄物の範囲について（F9SC13-8）

山田委員より、F9SC13-8に沿って、対象廃棄物の範囲に関する附属書案の説明があった。付図1について、誤解を招くとの指摘があり、付表1で必要な情報が示されていることから、付図1は削除することとなった。

（12）長期的、施設関連として考慮すべき項目について（F9SC13-9）

山田委員より、F9SC13-9に沿って、分科会で以前コメントのあった長期的要件等に対する検討について、附属書2に追加する参考資料案の説明が行われた。表2について、長期的な考慮が必要な項目が必ずしも適当ではなく、細かすぎる部分もあることから、表2を削除し、表1の記載を充実することとなった。

（13）F9SC13-10,11について

F9SC13-10,11については、各委員が持ち帰ってコメントを幹事又は事務局に提出することとなった。

6. その他

次回第14回分科会は、平成19年10月16日（火）午後、原子力学会会議室にて開催予定。

以上